

第1回

# 進路説明会

～令和5年度受検（受験）にむけて～

令和4年7月16日(土)

板橋区立上板橋第二中学校

配布資料一覧

\*生徒配布

- ① 説明会資料（本冊子）
- ② 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ
- ③ 島の学校に入ろう
- ④ 東京都内 私立学校案内
- ⑤ 合格パスポート

\*保護者配布

- ① 説明会資料（本冊子）

9年 組 番 氏名

# 1. 今年度の生活について

中学9年生という時期は、卒業後の進路選択と決定に向けて具体的に取組まなくてはならない大切な時期ですが、それとともに自覚して欲しいことは、9年間の義務教育修了の時でもあるということです。

この9年間、物事に対してどのように考えればよいのか、どのように行動したらよいのかということは、様々な形で示されてきたはずですが、ぜひ、それらのことを思い出し、見つめ直して残りの中学校生活を充実したものにしてほしいと思います。

今年度は、4月から学校は活動でき、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、行事や委員会活動、部活動を通じて、最上級生としての自覚と責任を果たすよう取り組んでいます。学習に集中して取り組む姿勢や休み時間の過ごし方、清掃活動等に真摯に取り組む姿、登下校の様子等、あらゆる場面で、上板橋第二中学校の最上級生としてのあるべき姿を示してほしいです。

自分の将来を見据えて進路を決めることも大切なしめくくりの一つです。さらに、中学校卒業、義務教育修了という節目に向けて、学校生活でも有終の美を飾ってほしいと願っています。

# 2. 本校の進路指導目標

## (1) 指導の目標

3年間を見通した進路指導を行うことにより、生徒が自己実現に向けて努力する態度を育てる。

## (2) 第9学年の指導目標

- ①自己理解を更に深めるために、学習を通して自己の特性や能力を把握できるようにする。そして、進路について自己実現の力を育成する。
- ②自己の特性や進路の希望を総合的に検討し、適切な進路先を選択する能力を育成する。
- ③進路について自己実現の希望がもてるよう、学習意欲と学力の向上を図る。希望の進路先の具体化に向け、適宜、適切な情報を提供し、また、高校訪問や体験入学などへの参加を促す。
- ④選択した進路において、より良く適応し向上しようとする態度を身に付けさせる。

# 3. 進路に関する取組計画

月	主な学校行事	進路に関する学校の取り組み	進路に関する生徒の活動	学習に関して
4	始業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦基準について</li> <li>・第1回進路希望調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年生の決意、最上級生としての自覚と責任を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習への取り組みを再点検する。</li> </ul>
5	運動会			
6	修学旅行 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習確認テスト①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の進路の流れを知る。</li> <li>・将来の生き方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業と家庭学習にしっかり取り組む。</li> </ul>
7	保護者会 終業式 三者面談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回進路希望調査</li> <li>・第1回進路説明会</li> <li>・「東京都立高校に入学を希望する皆さんへ」冊子配布</li> <li>・上級学校訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業後の進路先と仕組みについて理解する。</li> <li>・高校見学会や説明会へ参加する際のチェックポイント、学校選びの基準を家庭でよく話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7・8年生の復習を計画的に進める。</li> <li>・期末考査に向けて準備をする。</li> <li>・夏休みの学習計画を立てる。</li> </ul>
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級学校訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校や職場の見学会や説明会、体験入学などに参加し様子を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7・8年生の復習完了を目指す。</li> </ul>

9	始業式 生徒会役員選挙 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回進路希望調査</li> <li>復習確認テスト②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各高校が実施する学校説明会に参加して、志望校の候補を具体化する。</li> <li>都立の募集要項を熟読する。</li> <li>私立入試の流れを確認する。</li> <li>第一志望校の決定、併願校の選択を検討する。(私立推薦関係の有無)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強の成果を確認し、今後の計画を立てる。</li> <li>定期テストに、全力で取り組む。</li> <li>校外模試等の受験をする。(申し込みは任意)</li> <li>現在の実力を知り、進路選択に活かす。</li> <li>面接対策を進める。(学校・家庭)</li> <li>入試直前まで、粘り強く学習し、実力を高めていく。</li> </ul>
10	文化発表会 (舞台の部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接講座</li> <li>第2回進路説明会</li> <li>第4回進路希望調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験校の決定をする。【都立推薦・都立一般、私立単願・併願優遇等】</li> <li>調査書等作成願いの用意(実績等の記入)</li> <li>自己PRカードの下書きをする。</li> <li>面接練習開始</li> <li>集団討論、作文・小論文の練習(必要に応じて実施)</li> <li>出願書類の準備をする。</li> </ul>	
11	進路面談 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5回進路希望調査【最終】</li> <li>復習確認テスト③</li> <li>ESAT-J 11/27(日)</li> </ul>		
12	三者面談 終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試相談</li> </ul>		
1	始業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇私立推薦出願・入試・発表</li> <li>○都立推薦出願・入試</li> <li>◇私立一般出願</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己PRカードの清書をする。</li> <li>入試に必要なことを、直前まで入念に行う。</li> <li>合格後、手続きを速やかに行う。お世話になった方々に報告する。</li> <li>これから受験する仲間を応援し、学年全員の進路決定まで、自分ができることを行う。</li> <li>3年間の日々を振り返る。</li> <li>新しい生活への抱負を持ち、準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全力で入試に向かう。また、体調管理をしっかりと行う。</li> <li>中学校の学習内容を総復習し、高校(社会)生活の準備をする。</li> </ul>
2	学年末考査 文化発表会 (展示の部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都立推薦合格発表</li> <li>◇私立一般入試・発表</li> <li>※国立・都立高校・高専等出願・入試・発表</li> <li>○都立一次(前期)出願・入試</li> </ul>		
3	卒業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都立一次(前期)合格発表</li> <li>※都立二次(後期)出願・入試・合格発表</li> </ul>		



※都立受験、私立受験(都立高校は試験ではなく、検査という。)

\*第1回 三者面談(7月)

…1学期の生活や成績、夏休みの生活・進路についてなど

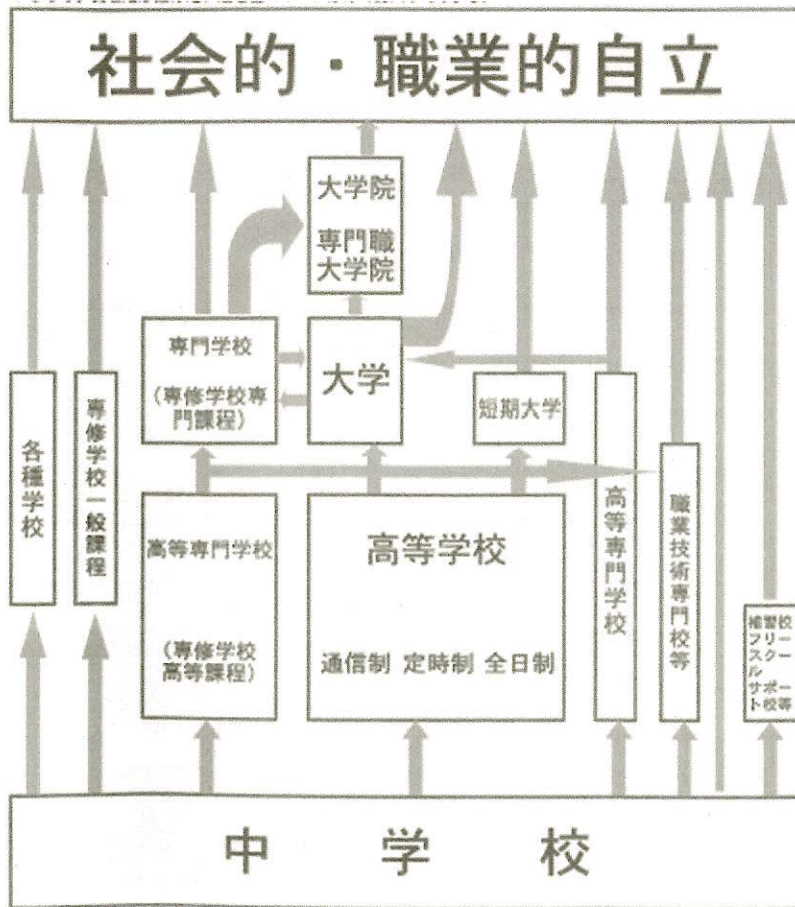
\*第2回 三者面談(11月)

…主に12月に行われる私立高校の入試相談へ向けた内容、志望先の確認など

\*第3回 三者面談(12月)

…進路希望の最終決定、今後の「入試の流れ」を確認など

## 4. 中学卒業後の進路について



「自分づくりの旅へ」中学生版より

### (1) 就職

#### ① 方法

中学校を卒業して就職する場合は、ハローワーク（公共職業安定所）を経由します。保護者の<sup>つて</sup>伝手などで就職先を探す場合でも、必ずハローワークを通して手続きをしてもらってください。労働契約をきちんとし、給与や労務災害などのトラブルを避けることが大事です。

まずは担任に相談してください。学校からハローワークに連絡を入れ、手続き等を進めます。

#### ② ハローワークの主な日程

年内から入社選考（面接等）や学校推薦開始（予定）です。それ以前でも、希望があれば早めに担任に連絡してください。

#### ③ 企業内学校

都内では日野工業高等学園（日野自動車）がありますが、愛知県のトヨタ工業学園（トヨタ自動車）からも学校に案内が届いています。どちらも自動車会社が運営している企業内訓練校です。工業高校に近いカリキュラムで、高校卒業の資格を取ることができます。入学すると訓練生として、月々の手当が支給され、卒業後はそれぞれの会社の正社員として各部門へ配属されます。ただし、目的意識が明確でないと入学試験を突破するのは難しく、入学後も「将来その会社に貢献できる人材になるために学ぶ」のですから、かなり厳しいです。

似たタイプの学校に神奈川県陸上自衛隊高等工科学校などもあります。

## (2)進学

### ①高等専門学校

○高等専門学校には、工業に関する学科と、商船に関する学科があります。ただし、関東甲信越地区には商船の学校はありません。工業関係は中学卒業後の5年間、商船関係は中学卒業後の5年6ヶ月間、それぞれ一貫した教育によって、各分野の専門技術者の育成をめざしています。

#### ○東京都内の高等専門学校

- ・国立東京工業高等専門学校…本科として、機械工学科、電気工学科、電子工学科、  
(八王子市) 情報工学科、物質工学科があります。
- ・東京都立産業技術高等専門学校…本科はものづくり工学科1科で、1年次は共通教育コース  
(荒川区・品川区) 2年次からは品川キャンパスでは機械システム工学・AI  
スマート工学・電気電子工学、荒川キャンパスでは情報通信  
工学・ロボット工学・航空宇宙工学・医療福祉工学の  
各コースに分かれます。
- ・私立サレジオ工業高等専門学校…本科として、デザイン学科、電気工学科、機械電子工学科  
(町田市) 情報工学科があります。

### ②専修学校・各種学校

○専修学校には、入学資格により、

1. 中学校卒業以上の者を対象とする高等課程
  2. 高校卒業以上の者を対象とする専門課程
  3. 入学資格を問わない一般課程
- の3つがあります。

○高等課程には、工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家庭、文化・教養などの分野があります。この高等課程の修業年限は1～3年とさまざまです。

○高等課程のある専修学校では通信制の高校と連携しており、専門学校高等課程と高校を同時に卒業できる学校もあります。選考についてはさまざまで、書類審査、学科試験、作文、面接適性検査等いくつか組み合わせて行われます。推薦希望者は、もちろんその志望する学校が第一希望でなくてはなりません。その他に、高校との併願を認めている学校もあります。

○各種学校には、専修学校のように○○課程というものはなく、入学資格を問わない場合が多いようです。教育内容は、専修学校とほぼ同じですが、自動車運転、看護、簿記、和洋裁、音楽などさまざまな内容を学ぶことができます。

### ③職業能力開発校

○就職を目指し、職業に必要な知識や技術を習得することができます。  
都内には、都立職業能力開発センターがあります。

#### ④高等学校

##### 国立、公立（都立）、私立高校の比較

	国立	公立 (都道府県・市町村立)	私立の高校
学習面	少人数制で、学習面の個人指導や成績管理も充実している。	1、2年は共通の授業で、3年で進路別の授業選択やクラス編成をする学校が多い。最近では進学指導に重点を置いた学校も出てきている。	主要教科の授業時間を多くしたり、1、2年からコース制を導入したり、習熟度別授業の実施したり、補習を徹底したりするなど、各校独自の工夫がある。
生活面	生徒の自主性尊重だが、規律などには厳しい。ほとんどの学校が制服着用。	伝統校は自主性尊重で規則はわりにゆるやかだが、最近では生活指導を強化する学校も増えている。制服がある学校が多い中、服装は自由か標準服着用というところもある。	宗教・情操教育に特色がある学校やしつけ重視の学校が多く、一般に生活指導が厳しい。ほとんどの学校に制服がある。靴・鞆を指定し、髪型も規定する学校が多い。
進路指導	大学進学を前提に、生徒それぞれの個性と適性を見つけていく指導が行われている。	どの学校でも進路指導は工夫しているが、基本的に生徒自身の努力にまかせられる。普通科の進学実績は、上位校と下位校の差が大きい。	学校の特色として、公立ではできない徹底した大学進学指導をする学校が目立つ。就職指導も、優れた設備で技術や資格取得に力を入れ、礼儀・マナーも徹底して指導する。
大学進学	基本的に併設大への優先はなし。いくつかの大学への推薦枠は利用できる。	学校によって、いくつかの大学・短大への推薦枠をもっているのが、成績が基準に達していれば利用できる。	付属校は、系列の大学・短大へ優先入学できる（優先条件は学校によりさまざま）。
クラブ活動	いろいろなクラブがあり、併設の大学とつながりのあるクラブもある。	クラブの他に、少人数の同好会もある。生徒の自主的な運営が多い。	学校の特色のひとつとしてクラブに力を入れる学校がある。全国的な有名クラブも私立が多く、設備が充実し、練習のレベルも高い。
年間納入金	入学金・・・56,400円 授業料・・・115,200円（年額） その他・・・およそ20万円 総額・・・35～40万円程度と推定	入学金・・・5,650円 授業料・・・118,800円（年額） PTA会費、他・・・およそ30万円 総額・・・40～50万円程度と推定	入学金・・・およそ20～40万円 授業料・・・およそ25～40万円（年額） PTA会費、他・・・およそ45万円 総額・・・120万円程度と推定
受験費用	9,800円	2,200円	1～3万円程度

\*公立高校は、原則、受験者が住んでいる都道府県の高校1校しか受けられません。転居を予定している場合は、早めに担任に相談してください。

A. 都立高校について

(a) 都立高校の種類と内容

\*6~7ページは本日配布した「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」の8~9ページと同じです。  
 詳細は、「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」で確認してください。

※令和5年度入試で募集を行う予定の学校を掲載しています。

高 等 学 校	全 日 制 課 程	学 年 制	普通科	[進学指導重点校]: 日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立	→29ページ
				[進学指導特別推進校]:小山台、駒場、町田、小松川	
			コース制	[進学指導推進校]: 三田、竹早、城東、豊多摩、北園、江北、江戸川、武蔵野北 調布北、小金井北、日野台	→30ページ
				[エンカレッジスクール]:蒲田、足立東、東村山、秋留台 上記以外の普通科の高等学校(右ページ下部に別掲)	→27ページ
			農業	深川(外国語)、片倉(造形美術) 松が谷(外国語)、小平(外国語)	→34ページ
			工業	園芸、農芸、農産、農業、瑞穂農芸	→11ページ
				工芸、蔵前工業、墨田工業、総合工科、杉並工業 荒川工業、足立工業、府中工業、町田工業	→13ページ
				[デュアルシステム科設置校]: 葛西工業、多摩工業	→15ページ
				[デュアルシステム導入校]: 北豊島工業、葛西工業(再掲)、田無工業	→27ページ
				[エンカレッジスクール]:練馬工業、中野工業	
			科学技術科	[進学指導推進校]:多摩科学技術 科学技術	→16、30ページ →16ページ
			ビジネス科	芝商業、江東商業、第三商業、第一商業、第四商業 葛飾商業、第五商業	→17ページ
			ビジネスコミュニケーション科	大田桜台、千早	→18ページ
			海洋国際科	大島海洋国際	→22ページ
			家庭	赤羽北桜、農業、瑞穂農芸	→20ページ
			福祉	赤羽北桜、野津田	→21ページ
			理数	[進学指導重点校]:立川	→25ページ
			体育	駒場、野津田	
			国際	[進学指導特別推進校]:国際	→24、29ページ
			併合科	大島(農林・家政)、三宅(農業・家政) 八丈(園芸・家政)	
産業科	橘、八王子桑志	→19ページ			
単 位 制	普通科	[進学指導特別推進校]:新宿、国分寺 [進学指導推進校]:墨田川 忍岡、美原、芦花、飛鳥、板橋有徳、大泉桜、羽田、上野	→29、30ページ		
	工業	[デュアルシステム科設置校]:六郷工科	→15ページ		
	家庭	忍岡	→20ページ		
	芸術	総合芸術			
	総合学科	晴海総合、つばさ総合、世田谷総合、杉並総合、上野総合 葛飾総合、青梅総合、町田総合、東久留米総合、若葉総合	→21、22ページ		

高 等 学 校	定 時 制 課 程	学 年 制 ( 夜 間)	普通科	大崎、小山台、大森、桜町、松原、豊島、大山 足立、南葛飾、葛飾商業、江戸川、葛西南 立川、農業、神代、町田、福生、五日市、大島、八丈		
			農 業	園芸、農芸、農産、農業		
			工 業	工芸、蔵前工業、墨田工業、総合工科、中野工業 荒川工業、北豊島工業、本所工業、小金井工業		
			商 業	第三商業、足立、葛飾商業、第五商業		
			併合科	瑞穂農芸(普通・農業)		
			産 業 科	橋		
		単 位 制	昼 夜 間	普通科	一橋、新宿山吹、浅草、狹窪、八王子拓真、砂川	→28ページ
				情 報	新宿山吹	→18ページ
				総合学科(チャレンジスクール)	六本木、大江戸、世田谷泉、穂ヶ丘、槻ヶ丘、小台橋	→26ページ
		単 位 制	夜 間	普通科	六郷工科、飛鳥、板橋有徳	
				工 業	六郷工科	
				総合学科	青梅総合、東久留米総合	
		通 信 制 課 程		普通科	一橋、新宿山吹、砂川	

別掲 全日制学年制普通科高等学校

<23区内にある学校>

向丘、上野、日本橋、本所、東、深川、大崎、八潮、目黒、大森、田園調布、雪谷、桜町、千歳丘、  
深沢、松原、広尾、鷺宮、武蔵丘、杉並、豊島、文京、竹台、板橋、大山、高島、井草、石神井、田柄、  
練馬、光丘、青井、足立、足立新田、足立西、淵江、葛飾野、南葛飾、葛西南、小岩、篠崎、紅葉川

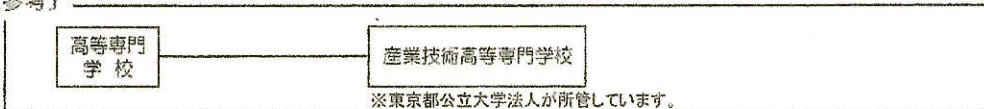
<多摩地区にある学校>

片倉、八王子北、富士森、松が谷、多摩、府中、府中西、府中東、昭和、拝島、神代、調布南、小川、成瀬、  
野津田、山崎、小平、小平西、小平南、白野、南平、東村山西、福生、狛江、東大和、東大和南、清瀬、  
久留米西、武蔵村山、永山、羽村、五日市、田無、保谷

<島しょにある学校>

大島、新島、神津、三宅、八丈、小笠原

【参考】





## 1 推薦に基づく選抜

	令和5年度入学者選抜	令和4年度入学者選抜【参考】
出願受付期間	令和5年1月12日(木)～18日(水)	令和4年1月12日(水)～17日(月)
実施日	令和5年1月26日(木)・27日(金)	令和4年1月26日(水)・27日(木)
合格発表日	令和5年2月2日(木)	令和4年2月2日(水)

(注1) 都立国際高校における国際バカロレアコースの入学者選抜についても上記日程で実施する。ただし、入学願書は学校へ持参することとし、出願受付期間は1月23日(月)及び24日(火)とする。

## 2 学力検査に基づく選抜

## (1) 第一次募集及び分割前期募集(注2)

	令和5年度入学者選抜	令和4年度入学者選抜【参考】
出願受付期間	令和5年2月1日(水)～2月7日(火)	令和4年1月31日(月)～2月4日(金)
実施日	令和5年2月21日(火)	令和4年2月21日(月)
合格発表日	令和5年3月1日(水)	令和4年3月1日(火)

## (2) 分割後期募集及び全日制第二次募集(注2、3) ※入学願書は窓口への持参により受付

	令和5年度入学者選抜	令和4年度入学者選抜【参考】
出願受付日	令和5年3月6日(月)	令和4年3月4日(金)
実施日	令和5年3月9日(木)	令和4年3月9日(水)
合格発表日	令和5年3月15日(水)	令和4年3月15日(火)

## (3) 定時制第二次募集(注3) ※入学願書は窓口への持参により受付

	令和5年度入学者選抜	令和4年度入学者選抜【参考】
出願受付日	令和5年3月22日(水)	令和4年3月22日(火)
実施日	令和5年3月27日(月)	令和4年3月25日(金)
合格発表日	令和5年3月28日(火)	令和4年3月28日(月)

(注2) 分割募集：定員を前期と後期に分割し、2回に分けて行う募集

(注3) 第二次募集：第一次募集で欠員のある学校が行う欠員補充の募集

(注4) インフルエンザ等学校感染症罹患等に対する追検査は、(2) 分割後期募集及び全日制第二次募集の日程で実施する。また、追検査等をインフルエンザ等に罹患したため受検できなかった者に対する追々検査については、(3) 定時制第二次募集の日程で実施する。

(注5) 今後決定するインターネットを活用した出願(推薦に基づく選抜及び学力検査に基づく選抜のうち第一次募集及び分割前期募集)に係る出願受付期間等については、別途定める。

東京都立産業技術高等専門学校では、令和5年度入学者選抜の日程を、以下のとおり決定しました。

なお、入学者選抜の詳細は、本年9月に策定予定の「令和5年度東京都立産業技術高等専門学校入学者選抜実施要綱」においてお知らせします。

## 1 推薦に基づく選抜

	令和5年度入学者選抜	【参考】令和4年度入学者選抜
入学願書受付日	令和5年1月12日（木曜日） から1月18日（水曜日）まで	令和4年1月12日（水曜日） から1月17日（月曜日）まで
検査実施日	令和5年1月27日（金曜日）	令和4年1月27日（木曜日）
合格発表日	令和5年2月 2日（木曜日）	令和4年2月 2日（水曜日）

## 2 学力検査に基づく選抜

### ○第一次募集

	令和5年度入学者選抜	【参考】令和4年度入学者選抜
入学願書受付日	令和5年2月1日（水曜日） から2月7日（火曜日）まで	令和4年1月31日（月曜日） から2月4日（金曜日）まで
検査実施日	令和5年2月15日（水曜日）	令和4年2月15日（火曜日）
合格発表日	令和5年2月20日（月曜日）	令和4年2月18日（金曜日）

■検査実施日・合格発表日は都立高等学校と別日程です。

■第一次募集で欠員が生じた場合は、第二次募集を実施します。

### 《問合せ先》

東京都立産業技術高等専門学校 高専品川キャンパス  
電話 03-3471-6331

### ▶「都立高校」と併願する場合

推薦選抜は同日実施のため、併願することはできません。

学力選抜はどちらにも出願することはできますが、本校の合格者となった方は、都立高校に出願していても受検することはできません。

◎「用語」と「総合得点の出し方」

「<sup>そないしん</sup>素内申」 → 各教科の評定の数値をそのまま足した数値 [満点は 45 点]

私立の推薦入試や併願優遇を受ける際に利用する。

\* 都立の第一次募集・分割前期募集では、国・数・英・理・社の5科目の検査が行われる。一方、音・美・体・技家の4科は検査を行わない。そのため、4科目の比重を高め、4科の合計を2倍として計算(換算)する。

分割後期募集・第二次募集では、国・数・英の3科目の検査が行われ、理・社・音・美・体・技家の5科の合計を 2倍として計算(換算)する。

「換算内申」 → 都立の第一次募集・分割前期募集では、

(国・数・英・理・社の5科目の合計) + (音・美・体・技家の4科) × 2倍 [満点は 65 点]

都立の分割後期募集・第二次募集では、

(国・数・英の3科目の合計) + (理・社・音・美・体・技家の6科) × 2倍 [満点は 75 点]

\* 都立の第一次募集・分割前期募集、分割後期募集・第二次募集では、当日の学力検査(試験)と換算内申の点数の比率(7:3、6:4など)を定め、1000点満点で評価する。

「(都立の) 調査書点」 → 65点満点の換算内申を 300点満点、75点満点の換算内申を 400点満点に置き換えたもの。

\* 令和5年度の第一次募集・分割前期募集では、後述の英語スピーキングテスト(ESAT-J)の結果 20点分が加算され、総合得点は 1020点満点になる。

\* 1000点満点の内訳(原則)

- ・ 第一次募集・分割前期募集 ①学力検査 : ②調査書の比率が 7 : 3
  - ・ 分割後期募集・第二次募集 ①学力検査 : ②調査書の比率が 6 : 4
- ※ 定時制の場合、分割後期募集・第二次募集で 5 : 5 の学校もある。

< Aさんが都立の第一次募集・分割前期募集を受検する場合 >

国語	数学	英語	理科	社会	音楽	美術	保体	技家
3	3	3	3	3	4	4	4	4

「素内申」 →  $3 \times 5 + 4 \times 4 = 15 + 16 = 31$  ※ オール5の場合 45

「換算内申」 →  $3 \times 5 + (4 \times 4) \times 2 = 15 + 32 = 47$  ※ オール5の場合 65

「調査書点(内申点)」 →  $300 \times (47 \div 65) = 216$ 点 ① ※ 小数点以下切り捨て

「学力検査の得点」 → 5教科合計(500満点)のテストで400点をとった場合

$400 \times (700 \div 500) = 560$ 点 ②

1.4倍

学力検査の満点(500点)を700点として計算するため、学力検査の得点を1.4倍すると、入試での得点となります。

※ 6:4の場合、3教科なので、2倍します。

「総合得点【①+②】」 →  $216$ 点 +  $560$ 点 =  $776$ 点

\* 第一次募集・分割前期募集ではさらにスピーキングテスト点を加える

◎ その他、都立高校の中には、面接、作文、小論文や実技検査を実施する学校もあります。

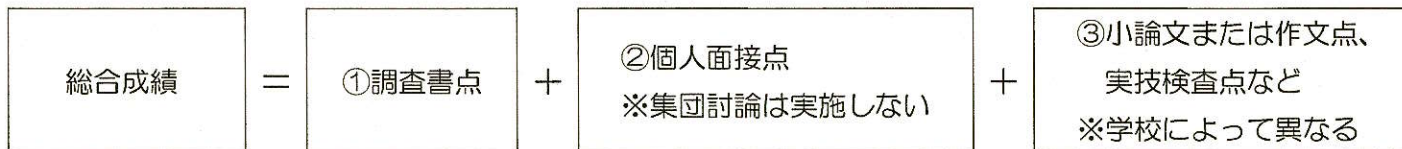
その場合、通常の1020点満点に、さらに、これらの得点を加えて合否の参考にします。

# 1. 推薦入試

～「一般推薦」と「文化・スポーツ等特別推薦」があります～

都立

在籍している中学校長の推薦があり、合格したら必ず入学することを条件に受検できる制度です。ただし、都立の推薦は、全般的に倍率が高くなる傾向が強いため、他の学校（都立一次や私立など）との組み合わせを考える必要があります。



\*推薦入試の場合、①・②・③の比率は学校によって異なり、総合成績も1000点満点とは限らない。

「一般推薦」では…

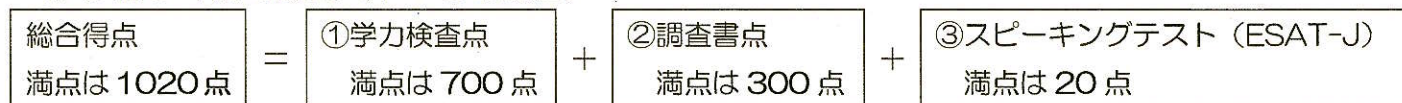
- 志願者全員に個人面接が実施され、表現力やコミュニケーション力等が評価される。
- 小論文または作文、実技検査などから、1つ以上の検査が行われる。  
それらをすべて点数化し、内申書と合わせて、総合的に合否が判定される。
- 調査書点（内申点）では、「観点別学習状況の評価（A・B・C）」を使う高校と、「評定（5・4・3・2・1）」を使う高校がある。
- 出願時に提出する「自己PRカード」は面接資料として活用されるが、点数化はされない。

「文化・スポーツ等特別推薦」では…

- 同一高校に限り、「一般推薦」との併願が可能。
- 高校ごとに出願の基準は異なるが、令和5年度においては、出願の基準に、大会の実績や、資格・検定試験等の成績に関わる内容を含めず、「実績等を証明する書類等の写し」の提出も求めない

# 2. 一般入試 第一次募集・分割前期募集

◎令和5年度の場合（7：3の場合）



\*100×5×1.4=700

〈やってみよう〉1学期の成績が出たら、**換算内申** と **調査書点** を計算してみましょう。

国語	数学	英語	理科	社会	①5科計

300×{(①+②)÷65}=

音楽	美術	保体	技家	②4科計	②×2

①+②×2
-------

7：3の場合
--------

令和5年度入試から、都立高校では「第一次募集」・「分割前期募集」において、ESAT-Jの結果を活用します。

※エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校等は対象外です。  
(詳細は9月に公表予定の「令和5年度東京都立高等学校入学者選抜実施要項」参照)

- (1)実施日 11月27日(日) 会場 都立高校・民間施設等  
予備日12月18日(日)
- (2)実施内容 ESAT-Jの資料参照
- (3)受験申込期間 7月7日(木)～9月6日(火) 17時まで  
※可能な限り、7月中に各ご家庭で登録を完了してください。  
受験申込をしていない場合は、受験できません。  
必ず期間中に受験申込を完了してください。
- (4)特別措置申請期間 7月7日(木)～8月5日(金) 17時まで  
※特別措置対応の詳細は「生徒用申込みマニュアル(以下マニュアル)」p.7をご参照ください。
- (5)申し込みの流れ

7月14日(木) 英語の授業にて

- ① 生徒個人IDの配布 ※生徒個人ID(生徒用)はご家庭で保管してください。
- ② 生徒用マイページへの登録説明(マニュアルp.3)
- ③ 個人情報の取り扱いについて ※保護者の方もご確認ください。(マニュアルp.4)

7月15日(金)～7月18日(月)

- ④ 顔写真の撮影(マニュアルp.5「顔写真のきまり」を確認後、撮影してください。登録した顔写真に不備がある場合、顔写真の再登録が必要になります。)

7月19日(火)・7月22日(金)

- ⑤ 顔写真撮影日(自宅での撮影が難しい場合のみ、学校で撮影します。)

7月29日(金)まで

- ⑥ 顔写真のアップロードおよび申込完了確認

(6)配布資料

The image shows three brochures. The left one is 'ESAT-J NEWS' with a 'Practice makes perfect!' slogan and 'Let's Try!' section. The middle one is 'お知らせ' (Notice) detailing the exam process, including a table for ESAT-J scores (A: 20, B: 15, C: 12, D: 8, E: 4, F: 0) and a calculation example for total score. The right one is '生徒用申込みマニュアル' (Student Application Manual) showing exam dates: 7/7 (9:00) to 9/6 (17:00) for general application, and 7/7 (9:00) to 8/5 (17:00) for special measures.

↑ 7/7 配布

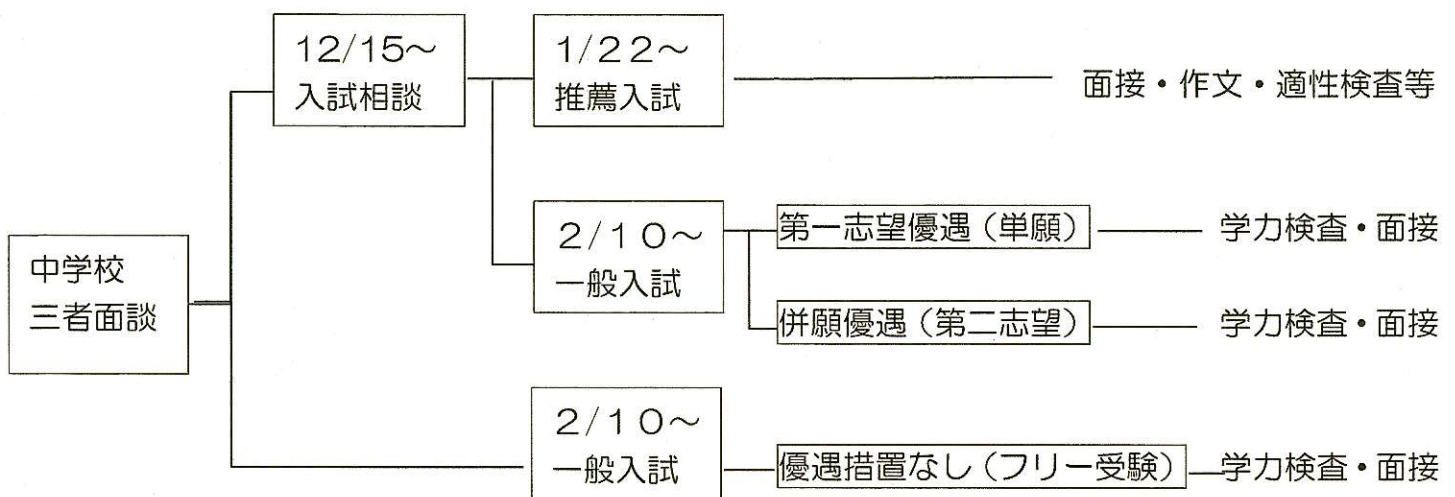
↑ 7/16 配布 ↑

東京・千葉・埼玉・神奈川には300以上もの私立高校があります。建学の精神や理念によって、その校風はさまざまです。

都立高校に比べて、普通科の割合が多く、最近では普通科の中をさらに細分化し、特進コース、進学コース、文理コース、総合進学コース等、目標とする大学に合わせたカリキュラムを組んで進学指導体制を整えている学校が増えています。

また、学校の数だけ校風、特色等のスタイルが違うので、進学実績だけでなくさまざまな角度から学校を選ぶことができます。学校を知るためには、積極的に説明会などに参加して、その学校の特色を理解しておくことが必要となります。

(a) 私立高校の日程（都内の一般的な高校）



1. 推薦入試のしくみ

都内の私立高校の入試にも、推薦入試と一般入試があります。推薦入試は都内私立高校の約9割が実施しています。

- 在籍している中学校長の推薦が必要で、合格したら必ず入学することが条件である。
- 内申（素内申）などが、各私立高校が定めた基準に達している場合、面接・作文・適性検査などで、選抜試験を受けることができる。
- 推薦入試を受ける人は、他校の推薦入試を同時に受験することはできない（1人1校のみ）。
- 合格してからの取り消しや他校の受験、進路変更などは認められない（契約違反となる）。
- 学校外のクラブチームの活動等で、「スポーツ推薦」を希望する場合は、早めに担任に相談してください。

\* 推薦入試の中には、隣接の埼玉県等の生徒を対象とした特別なものもあります。都内の中学生は対象外の場合があるので注意が必要です。

一般入試にもいろいろな制度があります。その代表的なものが「第一志望優遇制度」と「併願優遇（第二志望優遇制度）」です。すべての私立高校で実施しているわけではありません。

#### 【 第一志望優遇制度 】

- 推薦基準に達しないが、その私立高校が第一志望である場合、合格したら必ずその高校に入学することを条件に、学力検査の入試得点に加点する制度。
- 内申等の基準があるほか、入試得点で一定の基準に達しない場合は、不合格になるなどの条件を設定している場合がある。

#### 【 併願優遇（第二志望優遇制度） 】

- 他校が第一志望で、その第一志望校が不合格になった場合、必ず入学することを条件に加点し、優遇してもらう制度。
- もともとは公立高校を第一志望とする者に限定した優遇制度であったが、今は、他の私立高校を第一志望としたり、他の私立高校を複数受けたりすることを認めている学校もある。条件は学校ごとに異なるので、説明会や個別相談でよく確認してください。
- 内申等の基準は、推薦入試よりも高めに設定しているのが一般的である。

◎この制度を上手に利用して、安心して第一志望校の入試に臨むことをおすすめします。

夏の上級学校訪問で、私立高校に行く場合は、必ず、通知表のコピーを用意して、個別相談を受け、今の成績でその学校の併願優遇制度が利用できるかどうか確認してきてください。

### 3. 私立高校の推薦・併願優遇の基準について

推薦入試や一般入試の優遇制度を利用するには、高校が示す基準（出願基準、選考基準）に達していることが重要になります。基準は主に内申点（ここでは素内申）、欠席日数等で示されます。

- (例)・3学年2学期の成績が9科で30以上、または5科18以上、2や1がないこと。
- 欠席日数が3学年で5日以内
  - 英検や漢検・数検3級合格者は、内申点に加点1（準2級の場合、加点2など）
  - 生徒会活動、部活動、継続的なボランティアをやっていれば、加点1など

学校内外の活動や実績を評価するところも多いので、私立高校へ相談に行った際には、これらの基準の細かいところまで確認しましょう！

- ① 特進コース、選抜コースなど難関大学に特化したコースの設定  
国公立大学や難関私立大学などへ現役合格を目指すコースを設置する高校が増えています。最近では難関国公立大学や医学部などを目指す「スーパー特進」「特進選抜」といったさらにハイレベルのコースを設置するところもあります。
- ② 特待生制度の多様化  
公立高校と私立高校の学費の差を埋めるため、学校独自の「特待生制度」を設けている高校も多くあります。制度を何段階かに分けて、数種類の特待生制度を設けているところもあります。
- ③ 中学募集の拡大、高校募集の縮小  
中学募集の段階で生徒を多く確保するため、募集枠を拡大して、高校での募集枠を縮小するところもあります。
- ④ 完全中高一貫校化  
6年間一貫した教育を行うため、高校からの募集を停止するところもあります。
- ⑤ 共学化・名称変更  
都内の私立高等学校は、近年共学化が進んでいます。また、校名変更している学校もあります。
- ⑥ 授業料軽減助成金制度の導入  
都内在住の私立高校生を対象に、年収の目安により、在学校の授業料が助成される制度です。年収目安約910万で、国の「就学支援金」と合わせて、年46万9000円（都内私立高校平均授業料相当、ただし在学校の授業料が上限）が助成されます。  
※詳しくは、本日生徒に配布した「東京都内 私立学校案内」（東京都私学財団）をご覧ください。私学財団のホームページでも内容を確認できます。



自分自身で上級学校を訪問し(今年度はオンライン参加も可)、実際に校舎・校庭・生徒の活動の様子などを見学し、その学校の先生の説明を聞いて、進路決定のための準備を始めましょう。

### 1 実施時期 夏季休業期間

### 2 実施の流れ・注意事項

- ① 訪問する学校を各自調べる。家族とも相談して、いくつか候補をあげる。

**※ このところ、また新型コロナウイルスの感染者が増え、第7波の到来と報道されています。高校の説明会もオンラインに切り替わる場合がありますので、都立・私立とも必ずHPを見て状況をよく確認してください。**

- ② 中学からの連絡が必要な場合は、担任の先生に相談する。  
③ 自分の希望する学校を、原則一人または保護者の方と訪問(オンラインも可)する。  
④ 終了後「見学報告書」をタブレットにて作成し、クラスルームにデータを提出する。  
提出期限は始業式前日の20時までとする。

### 3 注意事項

- ① 実際に訪問する場合、当日は普段の学校生活と同様に、健康観察(検温を含む)をして、マスク着用で参加する。発熱等の風邪の症状や腹痛、下痢等がある場合は参加できない。また、事前予約時に、自分の連絡先を記載し、その連絡先を保健所に情報提供することに同意する場合がある。  
② 上級学校を訪問する際には、事前に必ず保護者に相談する。また、経路などを十分に調べ、事故やけがのないように注意すること。  
③ 学校説明会や授業体験など、学校によっては面接を兼ねていることもある。  
④ 学校によっては「個別相談」を行っています。その学校に進学したい意志が強い場合は、保護者の方と一緒に積極的に参加しましょう。

「個別相談」時に持参すると良いもの

- ・ 通知表のコピー(9年1学期)
- ・ 検定の合格証書 ※加点に関する情報などを得ることができる場合が多い。

- ⑤ 部活動体験のみの参加は、上級学校訪問には含まない。部活動体験の前後で、必ず、見学会・説明会・個別相談に参加しましょう。

## 推薦入試について

推薦入試とは

- 「合格したならば必ずその高校に入学し、3年間一生懸命に頑張る」ということが条件になります。
- 推薦は1人に対して1校のみで、合格してからの取り消しや他校の受験、進路変更は絶対にできません。
- 中学校長が責任をもってその生徒を推薦するものです。合格が決まってからも、「推薦を受ける資格に何一つ問題がない」ことを絶えず自覚して生活する必要があります。

### 推薦入試希望者校内選考基準（上板橋第二中学校）

公立・私立校を問わず、学校推薦を希望する生徒は、進路先の基準を満たしているとともに、以下の事項等を十分に満たしていることが条件です。

（この内容については、4月にプリントを配布し、ご確認いただきました。）

**\*はじめに：推薦制度の適用は、第一志望の学校に限られる。**

その学校に入学したいという強い気持ちがある場合のみ、願い出ること。

一、推薦基準（推薦することができる生徒）

**「上二中 生活スタンダード」「上二中 学び方スタンダード」の両方をきちんと守り、進学先でも前向きに学業に励むことが期待できる生徒**

**\*なお、以下のア～キに該当する者は、推薦できない。**

- ア、法に触れる行為（飲酒、喫煙、万引き、窃盗、傷害、ネット上での個人情報漏洩・他者への誹謗・中傷など）があり、警察に補導以上の措置を受けた者
- イ、傷害事件で、相手に相当な傷害を負わせた者
- ウ、継続的な（同一でなくても複数回以上の）授業妨害、授業放棄、器物損壊の行為、対教師暴力や暴言がある者（授業妨害については、私語、指示に従わないことを含む。また、授業放棄については、授業遅刻、チャイム着席をしない、離席、居眠りを含む。）
- エ、不要物（携帯電話、ゲーム、お菓子、マンガ等）の持ち込みがあり、指導によっても改善が見られない者
- オ、服装や髪の毛など（ネクタイ・リボンを正しくつけない、スカート丈、腰パン、くるぶしソックス、シャツ出し、頭髮の染色や加工、眉の加工、ピアス、マニキュア、アクセサリ等）の違反をし、指導によっても改善が見られない者
- カ、いじめや過度のいじり行為、集団のルールに反する行為（LINEやツイッター等のSNSへの書き込みも含む）をし、指導によっても改善が見られない者
- キ、正当な理由がなく遅刻・欠席の多い者（病気やけが等診断書が出せる者は別に審査する）なお、遅刻・欠席については、一年間に10回・10日までを基準とする。

二、基準の適用

一のア～キの項目に抵触する者は、推薦できない。また、推薦決定後に一のア～キの行為が見られた場合、推薦は取り消し（推薦辞退）となる。

また、どのような推薦制度であっても、推薦書に学校長の印が必要なものについては、同じ扱いとする。

三、人物の問い合わせには事実をありのままに伝える。

一、の推薦基準を満たしているとき、学校推薦ができるものとします。

## ○推薦の決定

- ①進路希望調査用紙にその旨を記入して提出
- ②学年で集約・検討
- ③校内推薦委員会・全教員で検討
- ④校長により最終決定

## 5. 進路選択にあたって

(1) いろいろな学校の情報を知る。

- ・書籍
- ・インターネット
- ・先生、保護者、先輩や受験生からの情報
- ・学校案内
- ・学校の説明会、見学会、体験入学への参加 ※本年度に関しては、
- ・その他

(2) 重視する点（譲れない点）を保護者と話し合う。

◇何を重視するか

- ・先生や親族からの勧め
- ・学習制度やコース
- ・通学しやすさ、交通の便
- ・学費、費用
- ・高校卒業後の進路
- ・部活や行事などの充実
- ・高校の制服
- ・教育方針、理念
- ・高校の雰囲気
- ・受験に利用できる入試制度の有無
- ・難易度
- ・その他

(3) 三者面談に間に合うように、志望校を絞り込む。

- ・11月の進路面談までに、私立高校の入試相談へ向けた内容、志望先の確認をする。
- ・12月の三者面談までに、進路希望の最終決定、今後の「入試の流れ」を確認する。



## ◇◇高校の説明会や見学会でのチェックポイント◇◇

【チェックポイント】	【内容】
校風・雰囲気	…… ホームページや学校案内、パンフレットではわからない高校の雰囲気を、五感を使って確かめよう。
教育方針・理念	…… その高校の教育方針や理念が自分と合うものなのか調べよう。文化祭や体育祭などの学校行事が、どの程度生徒の自主性に任されているのかチェックしよう。
学習制度・コース	…… 文系・理系のコース分け、習熟度別の授業の実施なども確認しよう。特に専門学科では自分の学びたい学習システムやコースがあるかを確認しよう。
進学実績	…… 大学合格者数だけでなく、進学先や現役での合格率も確認。大学付属の場合、内部進学の条件をチェックしておこう。
先生方の印象	…… 説明会や体験授業の終わったあと担当の先生と直接話ができる場合があれば、積極的に会話してみよう。
生徒の印象	…… 文化祭や体育祭、授業見学のほか、校外でも通学路や最寄り駅などで、在校生の普段の様子を見ることが出来る。自分がこの高校に溶け込めるかどうか予想してみよう。
部活の充実度	…… 部の加入率も確認しておこう。自分の希望する部があるかないか。使用している施設も確認しよう。
行事の充実度	…… 修学旅行の行き先なども確認。高校には中学にはない独特の行事があるので確認しておこう。
学校施設の充実度	…… ラウンジ、中庭などちょっとした憩いの空間も見ておこう。体育館やプール、実験棟などはどうか。
制服	…… 最近はいろいろなアイテムを組み合わせたタイプのものがある。生徒の普段の着こなしも見ておこう。
通学のしやすさ	…… 電車やバス、自転車、徒歩の組み合わせと所要時間、混雑の状況。定期代なども見ておこう。3年間通うことができるか。
学費・費用	…… 授業料の他に、制服代、修学旅行代、後援会費などの諸費用と寄付金、施設利用料など、かなりの金額がかかることがある。保護者とよく相談しよう。
入試のスケジュール	…… 複数の高校を受ける場合、募集要項や入学願書の配布時期や提出時期、推薦入試・一般入試の試験日と合格発表日など間違えないように確認しよう。
入試制度の変更点	…… 募集する学科やコース、人数の変更、入試科目の配点など昨年との変更点をチェックしておこう。
難易度	…… 過去の倍率や合格基準。自分の学力との比較して、合格の可能性を探るのが大事な作戦。
推薦入試	…… 推薦の種類、自分の成績と比べてどれくらいの過不足があるか。確認しよう。
一般入試	…… 入試科目や面接などの選考方法、優遇がある場合の条件などについて確認しよう。
出題傾向	…… 秋以降の学校説明会や入試説明会では、どのような入試問題が出題されるかといった詳しい説明をしてくれる高校があるので、要チェック。

## 6. その他 ～受験までにやらなくてはならない事項～

### \*チェックリスト

#### 夏休みまで（今すぐ準備・用意）

- 高校受験案内の本を購入する。
- 自宅から通える高校には、どんなところがあるのか調べる。
- 高校のホームページにアクセスする。
- 保護者と高校進学や卒業後の進路について話し合う。
- 夏休みの学習計画を立てる。
- 模擬試験をいつ受けるか考える。
- 部活での推薦を考えている人は、顧問と担任の先生に相談する。

#### 夏休み終了まで

- 学校説明会や見学会、体験学習等に参加する（オンライン含む）。  
※事前に予約が必要な場合あり
- 7、8年生の総復習を完了させる。

#### 夏休み以降（二学期）

- 学校説明会に参加する。

#### 今日から合格するまで毎日やるべきこと。

- 数学と英語は毎日勉強する。
- 国語の漢字は全部覚える。
- 理科と社会をローテーションに入れて勉強する。
- わからなければすぐに質問する。
- 将来何がやりたいか考える。（何をしているときが楽しいか？興味があることは何か？）
- 気になった学校があればすぐに調べる。先生や詳しい人などに聞く。

#### その他

- ◎ 今後は進路関係の配布物や提出物が多くなります。
  - \* プリントの管理はしっかりしよう。
  - \* 提出期限や締め切りを守る習慣を付けよう。
  - \* 紛失や再発行などは不可能なものがあるので要注意！！

令和3年度 卒業生進路先一覧

私立推薦	私立一般	都立推薦	都立一般
金沢学院大付属	クラーク記念国際	王子総合	青山
國學院	自由が丘学園	北園	赤羽北桜
十文字	淑徳巣鴨	北豊島工業	足立新田
城西大城西	昭和第一	工芸	板橋
貞静学園	巣鴨	小山台	板橋有徳
東亜学園	貞静学園	第四商業	王子総合
東京家政学院	東京女子学院	竹早	大森
東京共育学園	東洋女子	千早	大山
東京実業	豊島学院	豊島	北園
豊島学院	日本ウェルネス	文京	北豊島工業
日本音楽	豊南		工芸
花咲徳栄	立志舎		第一商業
東放学園専門学校			高島
豊南			竹早
目黒日大			千早
			豊島
			戸山
			練馬
			広尾
			文京
			稔ヶ丘
			向丘
			武蔵丘